

○柏崎市原子力防災計画見直し検討委員会（平成23年12月22日設置）

**目的** 東京電力福島原子力発電所の事故を受け、市の原子力防災計画の見直しを図る事を目的とし、現行計画に係る課題、検討項目及び対策案について調査検討する

**組織**

① 委員会（市災害対策本部規則に定める副本部長及び本部員）

委員長…副市長、副委員長…危機管理監

委員…教育長、総合企画部長、財務部長、市民生活部長、福祉保健部長、産業振興部長、都市整備部長、教育部長、会計管理者、ガス水道局長、消防長、高柳町事務所長、西山町事務所長

② ワーキンググループ（WG）

①の委員会の下に置かれ、検討項目をテーマ毎に検討する

メンバー…WGメンバーはテーマに関係する課の課長及び課員で構成

テーマ…「1 避難」「2 市役所機能」「3 要援護者」「4 被ばく防止」「5 学校」の他ガス水道局、消防機関などの独立組織も独自の視点で検討

○『市町村による原子力安全対策に関する研究会』と新潟県の実務担当者による原子力安全対策WG（平成23年12月26日設置）

**主旨** 研究会と新潟県が連携し、26市町村で構成する研究会がまとめた県への意見を活かしながら、真に実効性のある原子力安全対策を構築するもの

**検討項目** 柏崎刈羽原発の安全確保、実効性のある避難計画、法整備など国との連携、その他原子力安全対策に関すること

**構成** 参与…新潟県防災局長、幹事長…長岡市原子力安全対策監・政策監、  
幹事…新潟県原子力安全対策課長、柏崎市危機管理監、刈羽村総務課長、  
メンバー 長岡市原子力安全対策室参事・危機管理監、新潟市危機管理監、  
上越市危機管理監、小千谷市総務課長、見附市企画調整課長、  
出雲崎町総務課長

平成 24 年 1 月 11 日  
柏崎市防災・原子力課

委員質問・意見等

○柏崎市に対する質問

・防災無線が各戸に設備されてからかなり年月が経っています。そろそろ壊れている物もあると思います。対策は？

【回答】

戸別受信機を全戸に設置したのは平成 13 年度ですので、設置から年月が経過しているのはご指摘のとおりですが、今のところ、全ての受信機を一斉に交換するといったことは考えておりません。

現状では、各世帯から受信状態が悪いなどの連絡があった場合に、業者がお宅を訪問し、修理や機器の交換を行うという対応をしております。また、年に 1 度、市の広報誌に戸別受信機に関する特集記事を掲載し、取り扱い方法などについて注意喚起を行っております。引き続き、市民のみなさんへの周知を行い、良好な受信状態を保てるよう努めてまいります。